

議 長	局 長	主幹・係長	係

## 粕屋町議会 視察研修報告書

下記（別紙）のとおり、視察研修に参加しましたので、その内容について報告いたします。

粕屋町議会議長 末 若 憲 治 様

令和8年2月20日

粕屋町議会  
議会広報常任委員会

（堀本 高良）

### 報告事項

委員会名	議会広報常任委員会
日 時	① 令和8年2月6日 13:30 ~ 15:30 ②
視 察 先	① 添田町 ②
研 修 目 的 (テーマ)	① 議会広報紙の取組と体制について 広聴活動について ②
現状と課題	① 広報紙の編集作業での委員会開催頻度が多く、作業時間が長い現状がある。より効率的な委員会運営や仕組など新たに検討する必要性を感じる。 広報紙をより読みやすく、町民に読んでもらえるものにする必要もあり、文字数やイラスト、表紙などのデザイン性も今後検討していかなければならない課題である。 現在は全戸配布しているが、電子化や希望（購読）制などの検討を行い、町民一人ひとりが見やすい・読みやすい議会広報紙にする必要性があると思う。

<p>概 要</p>	<p>① ・ 添田町での広報広聴常任委員会について。  ・ 広報紙の編集作業やマニュアルの活用について。  ・ 広聴活動の運営について。</p> <p>広報紙の作成はマニュアル化することにより、編集方針、広報の目的や作業内容を明確にし、2年交代の前期・後期制でも議員全員が方向性の統一と作業の標準化を図り、高いクオリティを維持しているとのこと。</p> <p>今後、粕屋町議会の広報紙でもマニュアル化を進めるべきと考える。</p> <p>広聴活動については年1回の毎年11月開催で、3月からスケジュールを組み、サイクルとして回すことで仕組化も出来ている。コロナウイルス感染症から参加者の減少など課題があり、現在も集客に対して現状とのこと。テーマについては漠然とした抽象度の高いものでやっていたが、重点取組事項につながる意見が出にくいことから、令和7年より具体的なテーマ設定を行い、政策提言や立案に役立てる狙いがあるようだ。</p>
<p>質 疑 応 答</p>	<p>① Q：意見交換会の集客について。周知方法にチラシやLINEがあるが、どのようにやっているのか。  A：チラシは町の広報誌に入れ、全戸配布。LINEは町の公式LINEで投稿をしてもらった。</p> <p>Q：意見交換会の年間スケジュールは毎年変動するか、それとも固定で行っているのか。  A：固定で行っている。3月に次回テーマ決めなどを行い、11月に意見交換会の実施をしている。</p> <p>Q：委員会のオンライン出席を認めているが、どのような運用か。  A：委員会条例はあるが、実際は行っていない。</p>
<p>所 感</p>	<p>① 【議会広報紙について】  作業の効率化を行うと共に、見やすい・読みやすい広報紙にするため広報紙作成マニュアルを粕屋町議会も行き、どの議員が担当しても良いようにマニュアルの作成が必要と考える。</p> <p>【広聴活動について】  参加人数の少なさ（認知度の低さ）が課題はある。SNSやチラシの配布などの広報活動を増やし、広聴活動への町民参加を増やす努力をすべきである。</p> <p>【広報常任委員会について】  委員会の頻度や開催時間の短縮ができる仕組化が最優先と考える。</p>